

新3学部長、着任の抱負

「新時代」の学びを導く

神道文化学部
西岡 和彦 学部長法学部
一木 孝之 学部長人間開発学部
成田 信子 学部長

新時代「令和」を迎えた今年度、国学院大学は法・神道文化・人間開発の3学部で新たな学部長が着任した。針本正行学長率いる新体制のもと、3学部長がどのような学部運営を目指すのか、着任にあたっての抱負を聞いた。

変化する社会の中での「法」の重要性を説く法学部・一木孝之学部長は、「本学部で第一に学ぶべきは、意見は多様だということ」とし、「相手との『対話』『説得』というスキルがあって初めて、法律や政治の知識が意味をもつ。そしてそのスキルが身につけば、社会のどの分野でも活躍できる」と学生の成長に期待を込める。

皇典講究所からの伝統を受け継ぐ神道文化学部・西岡和彦学部長は、「学部創立30年をも見据え、創立当初の理念である神道精神と『寛容さ』を堅持することが肝心」とした上で、「グローバル化が注目される中、日本文化を背負う立ち位置を身につけ、文化や宗教を寛容的に受け入れる人間を育てたい」と強調する。

前年度に学部創立10周年を迎えた人間開発学部・成田信子学部長は、「本学部には『人が持つ力や可能性を引き出し、伸ばしていく』という理念がある。目標とする『自立した学修者』の育成には、学部教員など外側の者が教えたり育てたりするだけではなく、学生自身に自分の持っている力に気づかせることが重要」と述べた。

〔4、5面に関連記事〕

神殿鎮座記念祭・
践祚改元奉告祭を斎行

神殿鎮座記念祭と新天皇陛下のご即位と改元の奉告祭が5月1日、渋谷キャンパス神殿で斎行され、佐柳正三理事長、針本正行学長はじめ本法人傘下諸学校の役教職員・学生らが参列した。

本学の神殿は、昭和5年に渋谷キャンパス内に鎮座され、今年で鎮座89年を迎える。同日は、斎主の茂木貞純神祇奉斎員(神道文化学部教授)をはじめ教職員、学生が奉仕して祭典が行われた。

佐柳理事長は直会で「今日は日本国民にとって記念すべき日。神殿鎮座記念祭並びに践祚改元奉告祭が執行されたことは、実にめでたく厳粛に感じている。今年は、国学院大学久我山高校が創立75周年、国学院幼稚園が開園50周年を迎え、記念事業を行っていく。有栖川宮幟仁親王の告諭に『本校ノ隆昌ヲ永遠ニ期セヨ』とある。『オール国学院』をスローガンに法人役教職員一丸となって所期の目的達成のため邁進していただきたい」と挨拶した。

天皇陛下のご即位を
心よりお慶び申し上げます。

学校法人国学院大学

みはるかすもの

平成から令和へ。未明まで降った雨に清められた本学神殿では神殿鎮座記念祭とともに践祚改元奉告祭が斎行され、新時代が静かに幕を開けた▼幕末の光格天皇以来202年ぶりで、憲政史上初めてとなる譲位は、歴史的転換点であり、我が国の来し方を振り返る時間になった。巷では、年越しならぬ「元号越し」なる言葉が生まれ、「元号越しそば」をふるまうそば店も現れた。連続する時間の中で、改元は日本人の心を一旦リセットする機会になったとも思える▼そうした中、時代が変わっても繰り返される悲しい出来事も。4月には池袋で、大型連休直後

には滋賀県大津市で幼児が犠牲になる交通事故が相次いで発生した。失われた子どもたちの未来を思うと、言葉が出ない▼世界保健機関(WHO)が昨年発表した、2016年の交通事故による死者数は、世界で約135万人。24秒に1人が亡くなっていることになる。5〜29歳の子どもや若者の死因で1位と、深刻な現実だ▼警察庁によると平成30年中に国内で発生した交通事故の死者数は、3532人で昭和23年以来最少だが、悲劇は繰り返されている▼令和の時代は、自動運転技術が飛躍的に進歩し、事故件数はさらに減少するだろう。しかし、車が凶器になりうることは変わらない。おりしも5月20日までは春の全国交通安全運動週間。安全を追い求める姿勢は、行き交う車人も忘れてはならない。

経済学部は2学科8コース体制に 令和2年度入学者から

経済学部 学科体制・入学定員

現 行

【**経済学科**】入学定員：210人
【**経済ネットワーク学科**】
入学定員：150人
【**経営学科**】入学定員：150人

令和2年度入学者～

【**経済学科**】入学定員：255人
【**経営学科**】入学定員：255人

経済学科 Department of Economics

地域経済コース

日本や世界と結びついた各地域の経済の構造と実態を分析し、地域の魅力を追究することで、今後の地域経済のあるべき姿を発信、実践することを目指す



日本経済コース

日本経済が抱える問題を財政・金融・労働などの分野から整理分析し、日本経済の未来に向けた課題の解明と解決を目指す



グローバル経済コース

国際経済に関する専門的な知識を学修し、世界経済のなかで日本が、さらには私たちが暮らす地域が果たすべき貢献とは何かを明確にすることを目指す



経済理論とデータ分析コース

仮説の立案や実証に不可欠の経済理論とデータ分析の手法を修得し、さまざまな領域の課題の解明と解決を目指す



経済史コース

世界の諸地域や日本の経済の歩みを学修することを通じて、現代における諸問題の本質を明らかにし、今後の日本経済の在り方を展望することを目指す



ビジネスリーダーコース

実践力と経営スキルを磨き、リーダーシップを発揮して行動できる企業・NPOの管理職、経営者、公務員、団体職員などの養成を目指す



ビジネスクリエイターコース

創造力と課題解決力を磨き、ベンチャースピリットを堅持し、リスクに立ち向かって新しいビジネスにチャレンジする中小企業経営者、起業家、事業継承者、NPO創業者、社内起業家などの養成を目指す



経営学科 Department of Business Administration

ビジネスアナリストコース

分析力と論理的思考力を磨き、ビジネスをサイエンスとして分析できる一群の手法に精通した会計士、銀行員、証券マン、シンクタンク研究員、事業支援者、ベンチャーキャピタリスト、コンサルタントなどの養成を目指す



本学は、令和2年度入試から経済学部経済ネットワーク学科の募集を停止し、経済学科、経営学科の入学定員を増やす改組を行う。今回の改組で入学定員は、経済学科255人（現在210人）、経営学科255人（同150人）に拡充される。また、経済学科に5コース、経営学科に3コースが設けられ、実践的

で創造的な対応力を磨き、社会に貢献する専門基礎力のある教養人を育成するカリキュラムを整備する。橋元秀一経済学部長は、「近年、両学科への志願者は増加している。志願者増に応えられるようになる。徹底した専門基礎力の修得で自信をもち、コミュニケーション力を鍛えて、学生が希望する

キャリアを手に入れることができるようにしたい」と話す。経済学部は、昭和41年に政経学部を改めて開設され、募集停止となる経済ネットワーク経営学科は、平成8年に設置された。現在の3つの学科に在籍する学生は、現行のカリキュラムの下で卒業まで学修を行い、学部改組に伴う変更は生じない。

「指定寄付金」で芳名

学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性ある教育研究体制を確立するため、広くご寄付を

募っています。多方面の方々からのご寄付をたまわりました。ここにご芳名を掲載し、重ねて深甚の謝意を表します。本法人に対する寄付は、専用用紙

による申し込みとインターネット上でクレジットカード決済による申し込みが可能です。詳細は6面をご参照ください。（総務部総務課）

平成30年度指定寄付者一覧（敬称略）

平成30年10月1日～平成31年3月31日（単位：円）

寄付者	寄付目的	寄付金額	寄付月日
国学院大学事務局職員OB・OG会	学生・生徒等の奨学金	37,277	平成30年10月 2日
国学院大学合気道部OB会 会長 中川 健一	学生・生徒等の奨学金	10,000	平成30年10月15日
大野 歌子	教育・研究振興支援（書道研究）	5,000	平成30年10月20日
国学院大学院友会徳島県支部	教育・研究振興支援	20,000	平成30年10月20日
宇多川 寿夫	学生・生徒等の活動支援（硬式野球部支援）	10,000	平成30年10月20日
国学院大学付属幼稚園 教員養成所第18期卒業生	施設・設備充実支援	16,985	平成30年10月31日
市川 博之	学生・生徒等の奨学金	2,000	平成30年10月31日
		2,000	平成30年11月30日
		2,000	平成30年12月28日
		2,000	平成31年 1月31日
		2,000	平成31年 2月28日
斎藤 千秋	学生・生徒等の奨学金（人間開発学部創設10周年記念）	50,000	平成30年11月12日
株式会社アルク 代表取締役 實川 利光	学生・生徒等の奨学金	30,000	平成30年11月19日
矢澤 敏司	学生・生徒等の奨学金	50,000	平成30年11月28日
宇都木 丈夫	教育・研究振興支援（法学部）	50,000	平成30年11月29日
松崎 茂	教育・研究振興支援	50,000	平成30年11月30日
		50,000	平成31年 1月31日
田村 弘	学生・生徒等の奨学金（国学院大学北海道短期大学部）	1,000,000	平成30年12月 3日
椎野 安江	教育・研究振興支援（国学院大学久我山高等学校の生徒の教育の質の向上のため）	100,000	平成30年12月 7日
上野 美恵子	教育・研究振興支援（国学院大学久我山高等学校の生徒の教育の質の向上のため）	100,000	平成30年12月 7日
高橋 一行	施設・設備充実支援（校地拡充、校地取得等）	50,000	平成30年12月13日
匿名	学生・生徒等の活動支援（奨学金基金）	10,000,000	平成30年12月14日
遠藤 悟朗	教育・研究振興支援	30,000	平成30年12月14日
平山 光延	学生・生徒等の奨学金	50,000	平成30年12月18日
匿名	学生・生徒等の奨学金	1,426,170	平成30年12月20日
小澤 典子	学生・生徒等の活動支援（若木睦）	1,000,000	平成30年12月21日
国学院大学院友会 会長 吉田 茂穂	学生・生徒等の活動支援（大規模災害学費減免制度）	2,000,000	平成31年 2月12日
新井 さきほ	学生・生徒等の奨学金	20,000	平成31年 2月15日
株式会社アルク 代表取締役 實川 利光	学生・生徒等の奨学金	30,000	平成31年 2月19日
福田 光一	学生・生徒等の活動支援（バスケットボール部）	5,000	平成31年 2月28日
松井建設株式会社 取締役社長 松井 隆弘	教育・研究振興支援	20,000,000	平成31年 2月28日
大野台ソフトボール部有志一同 代表 佐柳 正三	施設・設備充実支援	13,000	平成31年 3月 4日
国学院大学院友会神奈川県支部 中地区院友会長 近藤 正臣	学生・生徒等の活動支援（陸上競技部支援）	60,000	平成31年 3月 4日
堀川戒神社 宮司 寶來 正彦	施設・設備充実支援（博物館、図書館充実のため）	300,000	平成31年 3月 6日
荒井 康一郎	学生・生徒等の活動支援（バスケットボール部）	5,000	平成31年 3月15日
東京都神社庁 庁長 小野 貴嗣	施設・設備充実支援	350,000	平成31年 3月27日
国学院大学院友神職会 会長 松山 文彦	教育・研究振興支援（奨学金寄付金（ライシャワー研究所留學奨学金資金等））	6,500,000	平成31年 3月27日
株式会社エデュース 代表取締役 松本 雄一郎	学生・生徒等の奨学金	1,100,000	平成31年 3月27日
浅井 隆市	学生・生徒等の活動支援（スポーツ強化部会支援）	3,000	平成31年 3月31日

井上順孝名誉教授 米国芸術科学アカデミー会員に



米国芸術科学アカデミーは4月、新会員約200人を発表し、外国人名誉会員に本学の井上順孝名誉教授（専門：宗教社会学）が選ばれた。国内の宗教学者では初選出となる快挙。

米国芸術科学アカデミーは、1780年に創設された米国で最古の学術組織で、それぞれの時代に多大な影響を持つ人々が会員に選出されてきた。米国初代大統領のジョージ・ワシントンや物理学者のアルバート・アインシュタイン、日本人で初めてノーベル賞を受賞した物理学者の湯川秀樹をはじめ、各国の政治家、科学者、思想家らが名を連ねている。

井上名誉教授は「会員に選ばれるとは思ってもよらぬことでした。本学の日本文化研究所における共同プロジェクトの成果、21世紀COEプログラムによる国外への発信が評価されたのかもしれません。改めて国学院大学の研究環境に感謝したいと思います」と喜びを語った。

渋谷4大学連携 単位互換制度がスタート

平成29年に締結された渋谷区内にキャンパスを有する4大学（本学、青山学院大学、実践女子大学・短期大学部、聖心女子大学）による包括協定に基づき、「渋谷4大学連携単位互換制度」が今年度からスタートした。各大学は「建学の精神」「カリキュラム・ポリシー」に則り、決められた6つのテーマに沿った科目を大学の特徴を踏まえ提供する。

本学は今年度、「まち・渋谷の歴史、各大学の歴史を学ぶ」「日本の文化・芸術・歴史を学ぶ」などのテーマに沿い33科目を開講している。

同制度の対象となる学生は、2～4年次生。出願時の累積GPAが、所属学部・学科の平均値以上であることなど出願条件がある。今年度前期分の出願は4月3日に締め切れ、他大学から9人を受け入れ、本学から3大学には16人を派遣している。

格付けAA（安定的）を維持

学校法人国学院大学は3月、日本格付研究所（JCR）から格付けAA（安定的）の評価を受けた。本法人では同研究所から平成18年に初めて格付けを取得し、今年も同評価を維持している。AAは20段階中、上から3番目の評価に当たる。格付けの事由としてJCRは、3年目に入った本法人の中期計画「21世紀研究教育計画（第4次）」に触れ、「外部評価を受けることで実現可能性を高めるなど、経営基盤の強化にも余念がない」などとしている。

学校法人に対する格付けは、大学経営の安定性・健全性が評価対象で、教育・研究の充実度の指標ともいえる。

派遣研究員の期間延長および変更

国学院大学における派遣研究員の派遣期間延長および変更が決まった。氏名・研究課題・派遣先・派遣期間は次の通り。

◎**期間延長**◆国外派遣研究員◇法学部▶稲垣浩准教授▷日本との比較を通じた戦後イギリスにおける地方制度改革の歴史的分析▷ケンブリッジ大学アジア中東研究学部（英国）▷令和元年10月1日～2年3月31日

◎**変更**◆国内派遣研究員（国外派遣取り下げ）◇文学部▶小手川正二郎准教授▷現象学的倫理学の基盤研究とその応用倫理学的展開▷国立国会図書館▷平成31年4月1日～令和2年3月31日

即位、元号にちなむ展示 国学院大学博物館



新元号「令和」が4月1日に発表され、典拠となった日本最古の歌集『万葉集』に注目が集まる中、国学院大学博物館では、本学図書館所蔵の『万葉集』巻五寛永版本（寛永20（1643）年刊）を展示中。27日から始まった企画展「和歌万華鏡―万葉集から折口信夫まで―」（会期6月23日まで）と合わせて楽しむことができる。

27日からは神道展示室で特集展示「即位礼」を開催（会期は5月26日まで）。202年前の文化14（1817）年に行われた、光格天皇から仁孝天皇への御代替わりの関連資料を展示し、讓位と即位に焦点を当てた。

協定校から交換留学生6人

本学では、大学院に3人、交換留学プログラム（K-STEP）に3人の留学生を4月から受け入れている。

4月19日には国際交流推進部と学生部による歓迎会が開かれ、交換留学生や学部、大学院に入学した留学生、国際交流に関心を持つ学生らが参加した。

交換留学生の内訳と滞在期間は次の通り。
交換留学生（大学院）＝◎南開大学（中国）＝2人（令和2年3月まで）◎復旦大学（中国）＝1人（2年2月まで）

科目等履修生（K-STEP）＝◎ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学（イタリア）＝3人（元年8月まで）

岩手・厳美中学校が 神楽舞奉納



岩手県一関市の厳美中学校の生徒4人が4月10日、渋谷キャンパスを訪問。修学旅行の一環で東京を訪れた生徒らは、4月ながら気温6度と冷え込んだ雨の中、伝統の衣装に身を包み、地域に伝わる神楽舞のひとつ「鶏舞」を披露した。御幣と扇子を手に力強く跳躍する生徒たちの気迫のこもった演技に、キャンパスを行き交う学生や教員は足を止め熱心に見入っていた。

文学部史学科歴史地理学研究室の実習の一環で交流がある一関市からは、これまで旧本寺中学校の生徒が来校し、神楽舞を奉納してきたが、平成30年4月に厳美中学校に編入されたことに伴い、今回は同中学校の生徒が来校した。

教職員人事

退職（自己都合）

◎大学事務局◆専任▽上野優多（教学事務部教務課主任）◆嘱託▽千葉信幸（総務部総務課嘱託）

以上、平成31年4月30日付

特別展「神に捧げた刀―神と刀の二千年―」（1月22日～3月16日）には、これまでで最多となる2万2528人が来館した



集めたことが来館

国芳画「山海愛度図会」など

国学院大学博物館 特別展・企画展の予定		
令和元年	和歌万華鏡	～6月23日
	新収蔵浮世絵ガールズ・コレクション	6月29日～8月25日
	有栖川宮家・高松宮家ゆかりの新収蔵品	8月31日～10月27日
	大嘗祭	11月1日～12月15日
2年	ANTIQUARIANS	1月25日～3月15日
	春の特別列品	3月20日～

※展示タイトル、日程は変更になることがあります。博物館HP(<http://museum.kokugakuin.ac.jp/>)などで確認を

平成30年度の来館者数は7万9326人、4月号既報

は「本学の学術資産の価値を多く

の来館者に知ってもらえる

はず」と期待を込めている。

一方、常設展示を含む「見せ

方の工夫」では、より多くの展

示解説を日英中韓4カ国語表

記に改め、インバウンドの来

館に備える。佐々木学芸員は

「本学の学術資産の価値を多く

の来館者に知ってもらえる

はず」と期待を込めている。

関根正直



関根正直

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

研究開発推進機構助教 齋藤公太

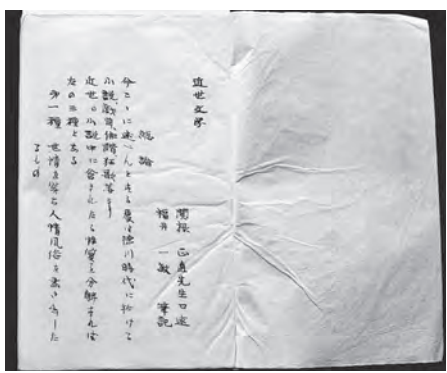
●明治・大正・昭和を生きた研究者秘話

関根正直―近代を生きた「国学者」の軌跡

本研究開発推進機構日本文化研究所が運営する「国学・神道関係人物研究情報データベース」(<http://k-ame.kokugakuin.ac.jp/>)は、国学・神道に関わる重要な人物の情報を多数収録しているが、それらの人々は必ずしも今日世に知られているわけではない。近代の国学者・関根正直もその一人である。

万延元（1860）年に生まれ、関根は当初英学塾に入ったが、健康を害して挫折。本を読みふける日々の中、伊勢貞丈らの著作と出合っ国学を学びはじめ、東京大学文学部附属古典講習科に入學した。明治19年の大学卒業後は、近代的な国語教科書の嚆矢である『近体国文教科書』を編纂し、国文学史研究の先駆けである『小説史稿』を著わしたほか、古典の校訂・注釈や近代的な日本語確立のための文法研究も行い、『古事類苑』や『大言海』の編纂にも携わった。本領の有職故実研究では『宮殿調度図解』や『公事根源新釈』などの重要な著作を残し、その学識により大正と昭和の即位関連儀式にも貢献した。

関根と本学の関係は深い。15年の皇典講究所創立時から講師となり、国学院（大学）においても昭和7年度に退任するまで講師・教授を務めた。当時の学生が記した講義録（本学所蔵



「写真下」からは、関根の国文学史研究の先駆性がうかがえる（堀口裕美子「国学院草創期の講義録」『國學院雑誌』113巻3号、平成24年3月参照）。

かくして読書好きの少年であった関根は、多方面にわたり近代日本文化の礎を築く仕事をなすに至った。それは日本が近代化していく中でなお国学が保っていた総合性の結実でもあっただろう。

研究開発推進機構助教 齋藤公太

学問ノ道 第16回

特集

新学部長に聞く

インタビューの詳細は、
本学ホームページ内
「国学院大学メディア」に掲載。

法学部

一木孝之学部長

Faculty of Law

多様な意見に触れ、 変化する続ける社会を学ぶ

法学部が、どのような学びの場なのかということを確認にイメージできる学生は、入学時にはあまり多くないだろう。本学部は、自分の興味関心に応じて科目を選択しながら学びを深めていく「法律専攻」、50人程度の少人数制で専門により特化したカリキュラムを持つ「法律専門職専攻」「政治専攻」という3つの専攻を設け、学生の目標や関心に合わせた教育を行っているのが特色だ。

法律も政治も社会問題から切り離すことはできない。何か問題が生じたとき、感情で白黒つけるということがあがちだが、本学部で第一に学ぶべきは、法律の知識を丸暗記することではなく、「意見は多様である」ということだ。見方や意見が複数出てきたときに、「自分の意見こそ正しい」と固執するのではなく

「まずは相手の意見を聞いてみよう」と対話の姿勢を持つことが重要となる。その上で、相手との歩み寄りが可能か、あるいはどうすれば自分の意見を相手に納得してもらえるかを考える必要がある。

その際に議論が平行線をたどることを避ける上で、法律や政治の知識というものが意味を持つ。さらに議論を進めるうちに、法律や政治という既存のルールは現在の社会においても本当に正しいと言えるのか、という点について考えることも大切になる。「対話」「説得」を第一に考え、そして「本当に正しいのか」「違う考え方もできるのではないか」という観点で物事を捉える姿勢こそ、本学部で学ぶ最大の意義であり、これらが身につくと、社会のどの分野でも活躍できる人材になるのではないかと考える。

最近、大学に対する社会の目は、どう対話の姿勢を持つことが重要となる。その基盤には「研究」があることを忘れてはならない。というのも、教員一人ひとりが自分の研究をきちんと形にすることが、大学、学部としての成果や評価につながる。より良い学びの場になるからだ。教員が研究について語る姿勢は、学生が学ぶ上での刺激となる。そのためにも、教員にとっては、研究の成果を教育の面で還元していくということが非常に重要である。法律や政治を含め、社会というものが絶えず変化し続ける中、自分たちはどのように対応していけば良いのかという意識を持ちながら、教員も学生も考え、学び、研究し、在学生や卒業生が誇れる学部でありたい。

いちき・たかゆき
【着任】平成18年4月
【専門】民法



神道文化学部

西岡和彦学部長

Faculty of Shinto Studies

世界で唯一の学びを次代に

日本で唯一、神職養成と神道学・宗教の研究を専門とする神道文化学部は学

部創立から17年。当初は「10年が勝負」とされていたが、20年へと近づいてい

る。歩みを緩めるのではなく、30年をも見据えて足固めをしたい。そのために

は、時代に即して動くと同時に設立当初の理念である「主体性を保持した寛容性と謙虚さ」と表される神道精神を堅持していかなければならない。

「寛容さ」とは、さまざまな学びを受け入れるのに必要だが、何でも受け入れるということではなく、理念を堅持した上で受け入れることが理想だ。注目されるグローバル化にしても、我々の立ち位置が大事になる。学びを通じて日本文化を背負う立ち位置を身につけ、文化や宗教を寛容的に受け入れる人間になってもらいたい。

国学院大学の母胎である皇典講究所の流れを受けて神職養成を続ける本学部だが、少子化や高齢化社会の進行によって地域の神社を維持することが難しくなっ

ている。また、一般家庭出身者の増加によってかつて10分の1程度だった女子学生が3分の1まで増えている現状は、神社界もひしひしと感じているはずだ。時代の変化を受け本学部では本年度、女性の専任教員を採用した。このような環境整備によって、神社界のリーダーとなるべき人材を育てることが本学部の務めとなる。

本学部はこれまで神道学と宗教学の2コース制を採用して、学生と教員の距離が近い環境での教育を実践して成果を上げてきたが、学生の志向は多様化している。もっと研究したい学生には、それに応じたカリキュラムを提供するとか、神職を目指してより高い実践力を身につけたい学生には今のカリキュラムを前提に

よりケアできるように改良するとか、個々の学生に対応した形ができないだろうか？ 大学は学生の希望を真摯に聞く必要があるのだ。そこに工夫の余地があると思っている。

（談）

にしおか・かずひこ
【着任】平成14年4月
【専門】神道思想史、
神道神学



人間開発学部

成田信子学部長

Faculty of Human Development

生涯学び続ける礎を。 自ら考え、自ら耕す人間に

初等教育、健康体育、子ども支援の3学科からなる人間開発学部。「人間開発」という言葉には、「人が持つ力や可能性を引き出し、伸ばしていく」という理念が込められている。人間が潜在的に持つ力を引き出すためには、学部教員など外側の者が教えたり育てたりするだけではなく、学生自身が自分の持っている力に気づいて大事にすることが重要で、それが我々の掲げる「教育の前に人間開発あり」に通じる。

平成21年の本学部創立から10年間の歩みをつぶさに見てきて、新たな10年に向けてやりたいことが2つある。1つは、「自立した学修者」の育成。「人づくりのフロ」を掲げてこれまで丁寧な指導を心がけてきた。学生と教職員との距離が近く、きめの細かいプログラム運営ができていた影響からか、本学部の学生は一般的な大学生よりジェントルで素直なイメージが見受けられる。卒業生が社会の

さまざまな場面で活躍していくためには、さらに自立した学修者を育て、自らを伸ばしていくことのできる人材を育成することが必要。もう1つは「広い視野。教員を目指す学生たちを中心に、教育インターンシップやボランティアに取り組みする学生は多いが、目的が教員採用に合格するといった実利的な面だけではもったいない。人間力育成のために、多くの人や社会との関わりを学生が自らつくり出し、視野を広げられるような取り組みを学部としてやっていきたい。

最近の教育現場は課題が山積している。平和的な解決だけでは通用しないことも多い。本学部は2年次に「教育インターンシップ」を置いて、学校の現場や教師の職務について3年次の教育実習の前に経験できる。そこで思い通りにいかない現実を知り、「子どもを叱ることが難しい」と痛感する学生がいる。今年度からインターンシップで感じたことを授業と

なりた・のぶこ
【着任】平成21年4月
【専門】国語教育



i インフォダイジェスト

… 在学生 … 保護者 … 卒業生 … 一般 … 受験生
 内容 日にち 時間 場所 対象 申し込み 料金 問い合わせ

**大学からの
お知らせ**

「指定寄付金」ご協力をお願い

内学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性のある教育研究体制を確立するため、広く寄付を募っています。寄付の種類は、「学生・生徒等の奨学基金」「学生・生徒等の活動支援」「教育・研究振興支援」「施設・設備充実支援」の4つに加え、学生の課外活動を支援するための「課外活動支援（スポーツ強化部会など）」や「メッセージ募金」を設けています。「メッセージ募金」は、スポーツ活動や課外活動などに熱心に取り組む学生に向けて、ホームページ上からメッセージを直接投稿してもらう仕組み。ワンコイン（500円）から寄付が可能で、メッセージはそのまま専用HPに公開されます（匿名可）。
申専用紙またはインターネットでのクレジットカード決済（VISA、MasterCardの2種類）が可能です。
問総務課（☎03・5466・0111）
※本法人への指定寄付金は税制上の優遇措置を受けることができます。募金に関する情報は専用HP（<http://kifu.kokugakuin.ac.jp/>）で閲覧できます

**日本学生支援機構奨学金窓口
対応時間の変更について**

内学生生活課での日本学生支援機構

奨学金に関する窓口対応は、4月から平日（月～金曜）の9時～17時（12時50分～13時50分は事務休止）に変更されました。なお土曜日の窓口対応は行いません。

問学生生活課（☎03・5466・0146）

イベント

本学が参加予定の進学相談会（7月開催）

内本学では、各地で開催される進学相談会に参加予定です。本学への進学をお考えの受験生、保護者の方はぜひご来場ください。

日・時・場上表参照
問入学課（☎03・5466・0141）

**令和元年度国学院大学文化講演会
日本古代の皇位継承
—即位・践祚・讓位・大嘗祭—**

内幕末の光格天皇以来202年ぶりの讓位による御代替わりは、4月30日に退位の礼、5月1日に即位の礼「剣璽等承継の儀」が執り行われて国内外の耳目を集めました。また、秋には即位儀礼のクライマックスとなる「大嘗祭」が控えています。これら一連の儀礼は一体どのようなものなのか。本学教員をはじめ国内トップクラスの研究陣が、文献史学や神道学、考古学の観点から午前・午後の2部にかけて報告します。

日6月8日(土)
時10時～18時（開場9時30分）

英語教育センター

TOEIC® 学内テスト

内英語教育センター（旧LLC）が団体受験特別制度（IP:Institutional Program）として実施するものです。公開テストとIPテストのスコアの有効性はTOEIC主催団体により同一とされていますが、一部企業、公務員採用試験、大学院入試などによっては公開テストの結果の提

出を求められる場合もあります。

日7月13日(土)
時14時30分集合、17時15分散会（実際の試験時間は2時間）
場渋谷キャンパス（教室は試験1週間前をめどにお知らせします）
料3700円
対学部1～4年生、大学院生
申6月28日(金)までに自動証紙発行機で証紙を購入し、英語教育センター（渋谷）、たまプラーザ事務課に提出
問英語教育センター（百周年記念館）

**本紙へのご感想を
お待ちしております**

「国学院大学学報」では、読者の皆さまからのご意見・ご感想を募集しています。掲載された方には、本学オリジナルグッズを進呈いたします。ご投稿は以下の要領でお願いします。

①今号の満足度5段階（低1～5高） ②本紙へのご意見③住所④氏名⑤所属など（在学生の場合⑥学科・学年、保護者、院友（本学卒業生）、本学・本法人教職員、その他いずれか）を明記の上、ハガキ・FAXで国学院大学広報課（連絡先は1面参照）までお送りください。また、QRコードよりEメール作成画面を開くことができます。なお、お送りいただいた方の個人情報保護は法令に基づいて取り扱います。

※お寄せになられた原稿・お便りは返却いたしません



進学相談会一覧（7月開催分）

都道府県	都 市	会 場	日 付	時 間
東 京	池 袋	池袋サンシャインシティ	7月7日(日)	11:00～17:00
	新 宿	新宿NSビル	7月15日(月・祝)	11:00～16:30
新 潟	新 潟	新潟市産業振興センター	7月8日(月)	14:00～17:00
			7月10日(水)	10:00～18:00
神 奈 川	横 浜	パシフィコ横浜	7月16日(火)	10:00～16:00
			7月28日(日)	11:00～16:00
沖 縄	宜 野 湾	ラグナガーデンホテル	7月16日(火)	16:00～20:00
			7月17日(水)	16:00～20:00

場渋谷キャンパス常磐松ホール
料無料（先着200人）
申メールの件名に「文化講演会申し込み」と記載したうえで、名前（フリガナ）、ご所属を明記し、✉jigyoku@kokugakuin.ac.jpへ申し込む。
問エクステンション事業課

渋谷区民大学講座「渋谷らしさ」からみた渋谷の歴史

内いまや世界都市・東京や日本を代表するといっても過言ではない「渋谷」。その街の成り立ちを、明治から平成の時代を中心に本学文学部の手塚雄太准教授がわかりやすく解説

します。渋谷区民の方はもちろん、一般の方もご参加いただけます。

日6月22日(土)
時10時～11時30分
場渋谷キャンパス常磐松ホール
料無料
申申込用紙に名前（フリガナ）、電話番号、住所、同伴者の有無を記入してFAX（☎03・5466・0528）か、必要事項を記入したメール✉jigyoku@kokugakuin.ac.jpで申し込む。締め切りは6月19日(水)。
問エクステンション事業課（☎03・5466・0769）

キャリアサポート

就活スタートガイダンス②

内就職活動では、エントリーシートや履歴書など書類提出が必須で、インターンシップ応募時の提出も増えています。企業は書類をどのように評価しているのか、高い評価を得るためには何をアピールするのかを解説・ワークを通して学びます。
日・時6月10日(月)6限、11日(火)6限、12日(水)3限か5限
※全4回は同じ内容です。いずれかの時間帯に出席してください
対3年生

**夏季インターンシップ事前研修
（キャリアアップ講座）**

内インターンシップでの学びを最大限に高めるには、目標設定をするなど準備が必要です。インターンシップの参加を予定している学生は、必ず出席をしてください。※単位申請者は参加必須

日・時6月19日(水)4～5限または26日(水)4～5限の2コマ連続
対1～3年生

**インターンシップ向け
筆記試験対策講座**

内インターンシップ選考で筆記試験を導入している企業が増えています。筆記試験の傾向と対策を学んでインターンシップ選考を突破しましょう！
日・時5月29日(水)4限か5限、6月5日(水)3限か5限

学内合同企業説明会

内優良企業をお招きし開催する、学内合同企業説明会です。毎年この説明会をきっかけに就職先と出会う学生が多くいます。就職活動継続中の4年生はぜひ参加を。
日・時6月26日(水)12時30分～15時20分
対4年生

※いずれも渋谷キャンパスで開催。詳細確認・申し込みはK-SMAPYⅡの「就職／各種面談」→「セミナー申込」から

オウカする

**若木が丘
だより**

教育開発推進機構准教授
佐川 繭子



最近知った言葉に、「押下する」というものがあります。見慣れない表現ではあるものの、字面と文脈から意味する所は察しがつきます。見慣れないのも道理で、ジャパンナレッジで検索すると、見出し語に採用しているのは1種類の辞書しかないことがわかります。ちなみに、同じ漢字を用いた「おしおろす」「おしくだす」「おしさげる」の語は、それぞれ複数の辞書が採録しています。他の辞書に手を伸ばしてみると、『広辞苑』には見えます。中国由来ではなさそうだと思いつつも『大漢和辞典』を引くと、「押上オシアゲ」はありますが、その対義語とも言えそうな「押下」はありません。念のために『漢語大辞典』のページを繰っても、案の定見つかりません。こういった安直な調べ方でも、国内で最近作られた語であろうと見当がつきます。検索エンジンで引かかる文章を見ても、その用例

章や学術的な文章には顕著です。文章ハカクアルベシという考え方が共有されていることが、文章専用とも言える「押下する」という語の出現の背景にあるのでしょう。文語体から言文一致の口語体へと、標準的な日本語の書き言葉は大きく変わりましたが、両者の間は断ち切れているわけではなく、カタカナ語が増殖する一方で、古色ゆかしい営みも行われていることがわかります。

から新しい語であることがうかがえます。そもそも、漢字を音読みして、サ変の動詞「す（する）」を接続して動詞にするのは、漢文訓読の技法です。漢文を読む機会が限られ、書き言葉が漢文訓読の影響下にある文語文ではなくなつて久しい現在は、訓読という文体に接する機会も少なくなつています。それでも、音読みの語、言い換えれば固めの語が好まれる（望まれる）傾向は、公的な文

院友・荻野選手 MGC出場へ

ハンブルク・マラソンが4月28日、ドイツのハンブルクで行われ、院友の荻野皓平選手（富士通、平24卒・120期法）が2時間10分15秒で9位に入り、9月15日に東京都内で行われる2020年東京五輪代表選考会のマラソングランドチャンピオンシップ（MGC）の出場権を獲得した。本学卒業生のMGC出場権獲得は初めて。

団体個人の成績

陸上競技部＝陸上の2019日本グランプリシリーズプレミア神戸大会、第67回兵庫リレーカーニバルが4月20、21日、ユニバー記念競技場（神戸市須磨区）で開かれ、男子1万mに出場した土方英和選手（健体4）は29分7秒71で9位（学生4位）だった。
蹴球部＝東京都大学サッカーリーグ戦1部が4月21日に開幕した。1部に所属する本学は、5月12日に第3節を終了し、2勝1分けと好スタートを切った。リーグ戦は全10校がホーム＆アウェーの総当たりで行われる。
バスケットボール部＝第68回関東大学バスケットボール選手権大会が4月20日～5月5日、97大学が参加して行われ、1回戦から出場した本学男子は3回戦で敗退した。第53回関東大学女子バスケットボール選手権大会が4月27日～5月12日、79大学が参加して行われ、2回戦から出場した本学女子は3回戦で敗退した。

強化部会主なスケジュール（5・6・7月）

柔道部＝令和元年度全日本学生柔道優勝大会（男子68回、女子28回）（6／22（土）9：30～・日本武道館、6／23（日）9：00～・同）
剣道部＝第53回全日本女子学生剣道選手権大会（6／29（土）・エディオンアリーナ大阪）、第67回全日本学生剣道選手権大会（6／30（日）・同）
蹴球部＝東京都大学サッカーリーグ戦1部 対学習院大（5／26（日））、対大東文化大（6／2（日））、対東京農業大（6／9（日））、対明治学院大（6／16（日））、対東京大（6／23（日））。時間・場所は同部HPなどで確認を。
ソフトテニス部＝第39回全日本大学ソフトテニス王座決定戦（6／8（土）～9（日）、北海道立総合体育センター「北海きたえーる」）、第69回東日本大学対抗ソフトテニス競技大会、第74回東日本学生ソフトテニス選手権大会、第62回東日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会（6／29（土）～7／3（水）・白子町中里サニーテニスコート他）
卓球部＝令和元年度関東学生卓球選手権大会（6／6（木）～8（土）・和光市総合体育館）

ソフトテニス部

男子関東リーグ初制覇、首都リーグ連覇も達成

関東学生ソフトテニス春季リーグ戦が5月11日～12日、千葉県白子町で行われ、男子1部に所属する本学は、主将の濱野達哉選手（健体4）を中心に健闘し、4勝1敗、勝ち点4とした。同じ勝ち星で早稲田大学、明治大学が並んだため取得ゲーム率の差で上回った本学が、創部以来初となるリーグ制覇を達成した＝写真。この結果、6月8日～9日に北海道立総合体育センター「北海きたえーる」（札幌市）で開催される、第39回全日本大学ソフトテニス王座決定戦に関東代表として出場することが決まった。同大会は全国9ブロックを勝ち抜いた優勝校のほか、韓国、台湾の大学など12チームで頂点を争う。なお、女

中国に渡って見えた「異文化」と「挑戦」

大学生交流事業に参加して



櫻井杜乃さん（平31修・127期神専攻）

門間玲奈さん（日文3）

独立行政法人国際交流基金日中交流センター（東京都新宿区）による大学生交流事業に、本学から櫻井杜乃さん（平31修・127期神専攻）と、門間玲奈さん（日文3）が参加した。日本と中国の文化交流を目的に、今年3月、中国陝西省の省都、西安に派遣された2人に聞いた。

——渡航まではどのような活動を

櫻井さん（以下、櫻井） 門間さんと他大学の学生を含む5人でチームを組み、イベントの企画を提案して選抜されました。私たちならではの分野ということで「神道」を思いつきましたが、中国の方に伝えるのが難しく、企画を考えるのは大変でした。

門間さん（以下、門間） 伝承文学の授業で、七福神は中国、インド、日本の神様が一緒に祀られていることを知り、日中交流にぴったりのテーマだと思いました。そこから、日本の偉人7人を紹介する「七福偉人祭」という企画を生み出しました。

——現地でのイベントは



インタビューの詳細は、本学ホームページ内「国学院大学メディア」に掲載。

櫻井 日本の7人の偉人に関連した7つのテーマで文化紹介のブースを設けました。特に着付けのイベント＝写真下（門間さん提供）＝が大盛況で、中国の方同士で着付けをし合うという交流も生まれました。

門間 想定外のことがたくさんありましたが、現地の方々が手助けをしてくれました。イベントを通した文化交流だけではなく、現地学生との親交も深めることができてとてもうれしかったです。

——中国で過ごしてみて

櫻井 歴史上では日中関係が上手くいかない時期もありましたが、出会った中国の学生たちは日本が大好きでした。街並みも想像と違い、大通りがある一方で、狭い路地では歩行者と乗用車と自転車 がひしめき合って通っていて、人間同士の距離が近い国だと思いました。

門間 横断歩道がない大通りを現地の方たちは平気で渡るのですが、日本人の感覚では怖くて…。でも、中国人にとっては普通のこと。「ここでは私たちが異文化なんだろうな」と、すんなり受け入れることができました。

——今回の経験で得たものは

櫻井 挑戦すること、そして人とのつながりの大切さです。交流事業に参加することになった縁と、現地の方々の協力で貴重な経験ができました。

門間 私も、挑戦することの大切さを感じました。一步を踏み出すのは勇気がありますが、今では「できることはやってみたい」という気持ちを持てるようになりました。



に勝利し勢いに乗ると連勝を重ねた。最終戦の城西大学戦では、5試合目までもつれたが3－2の僅差で逃げ切って、5戦全勝で連覇を達成した。

K:DNA——創立137年目を迎えた国学院大学の**遺伝子**…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える

硬式野球部

東都大学野球春季リーグ 接戦制し初優勝に望み

本学硬式野球部は、東都大学野球春季1部リーグで5月16日現在、第4週までを終えて、7勝3敗1分け・勝ち点3。東洋大学に次ぐ2位で優勝の可能性を残している。

開幕カードを連勝した本学は、翌週の東洋大学

亜細亜大学1回戦でサヨナラ本塁打を放つ鎌仲純平選手



戦で引き分けを含め4回戦までもつれた末に1勝2敗1分けで敗戦した。令和最初の試合となった亜細亜大学との1回戦（5月1日）は、先発の吉村貢司郎投手（経4）が9回無失点と好投。0－0で迎えた九回裏には、4番・鎌仲純平選手（健体4）がフルカウントから亜細亜大学・内間拓馬投手の122球目を右翼に運ぶサヨナラ本塁打を放ち、1－0で勝利を挙げた。

翌日の2回戦では、二回表、1死二塁から7番・戸張駿選手（経ネ4）の適時二塁打で先制すると、1番・貞光広登選手（経4）が2点適時打で続き、この回3点をリードした。さらに三回、八回にも1点ずつ追加点を挙げ、相手を突き放した。

先発の横山楓投手（健体4）は、二回に本塁打で1点を失ったが、六回を投げ9奪三振と好投。2番手・上出拓真投手（健体3）も残る三回を無失点に抑え、5－1で連勝した。

第4週の駒沢大学戦は、1勝1敗で迎えた3回戦（15日）。三回裏に2死二・三塁と走者をためると4番・鎌仲選手の左翼線への適時二塁打で2点を先制した。四回表に押し出しで1点を失ったものの、3番手・小玉和樹投手（史4）が五回2



防御率リーグトップの吉村貢司郎投手

令和元年度東都大学野球春季1部リーグ結果

順位	大学名	勝ち数	負け数	分け数	勝率	勝ち点
1	東洋大	8	3	1	0.727	4
2	国学院大	7	3	1	0.700	3
3	亜細亜大	5	5	1	0.500	2
3	中央大	5	5	1	0.500	2
5	駒澤大	4	8	0	0.333	0
6	立正大	2	7	0	0.222	0

（令和元年5月16日現在）

／3を自責点0に抑え2－1で勝利し、勝ち点を3とした。優勝戦線は、勝ち点4の東洋大学が優位に立つが、残る中央大学戦で勝ち点を上げ、春季リーグ初優勝に望みをつなぎたいところだ。

陸上競技部

浦野選手が始球式

陸上競技部の浦野雄平選手（経営4）が5月2日に行われた本学硬式野球部と亜細亜大学との2回戦で始球式に登場した。本学硬式野球部のユニホームを着た浦野選手は、ゆったりとしたフォームから外角高めに力強い直球を投げ込み、スタンドからは温かい拍手が送られた。

浦野選手は、平成30年4月にスイスで開催された「世界大学クロスカントリー2019」に日本代表として出場し、6位入賞。また今年1月の「第95回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）」では、5区で区間新記録での区間賞を獲得し、本学の往路3位、総合7位に貢献した。



未来につなぐ 学術資産研究／一ト

》戦後に始まった本格的な稀覯書収集

本学の学術資産は、図書館・博物館にその多くが収蔵されている。図書館収蔵のものについて、昭和27（1952）年に発行された『國學院大學七十年史』の「図書館」の事項の中に以下のような一文がみられる。

「戦後本館の蔵書数が激増したばかりでなく、最近では稀覯書類の架蔵にも目立ったものがある。本所本學創立当初から副総裁の任にあつて経営のために努力せられた久我建通氏の蔵に係はる久我家伝来の古文書類は、昭和六年以来本館に保管せられてゐたが、昭和二十六年四月、令嗣久我通顕氏から譲渡せられた。まづこの久我文書がその一つ。更に同年九月には屋代本平家物語と源親行自筆と伝へられる新古今和歌集を購入した。これもその一つ。

また本年（昭和二十七年）四月にAdam SmithのAn

Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations（国富論）の初版本（1776）や、Essays on Philosophical Subjects（1795）をはじめJ. S. MillのPrinciples of Political Economy with some of their Application to Social Philosophy（1848）などを含む貴重な古典的洋書を納架したのもその一つである。」

戦後、最初に架蔵した2点の古典籍と榎本鋳治氏（慶応義塾大学卒）から譲られた洋書から図書館の本格的な貴重書（稀覯書）収集が始まったのである。

現在では、貴重書として登録されているものは約4700点になる。もちろん一般書の中にも学術的に大きな意味を持つ資料が多く見られる。

古山悟由（学術メディアセンター事務部図書館事務課主幹）



屋代本平家物語（国学院大学図書館所蔵）